

在校生～保護者～OB 世代間 交流プロジェクト

第24回「三世代をつなぐ駒カフェ」開催の報告

第24回「三世代をつなぐ 駒カフェ（在校生対象）」が、2023年6月17日（土）13時から15時まで、第2会議室にて、対面で開催することができた。今回の「駒カフェ」は、中学1年生が3名参加した。参加者は、最初、緊張感があったが、徐々におじいちゃん世代のOBスタッフと駒場東邦の自由な学校生活などの会話をすることができた。

また、前回の駒カフェ（保護者対象）のとき、体調不良で参加できなかったお母さまが、駒カフェスタッフの集まる準備会を開催する7/1に来校してくださって、第23回駒カフェの第2部を行った。

（後半に感想の記載あり）

参加者の感想

- ① 先輩で活やくしていて、人生経験も長い方の話はこれからの人生にも役に立つことがたくさんあってとても興味深かったし、とてもおもしろかったのでとてもありがたかったです。なので、また機会があったらきてみなさんと話をしたいと思いました。



- ② 話がおもしろかった。

- ③ !!。



OB スタッフの感想

- ① 下校する比較的高学年の駒東生数名に声掛けして、駒カフェのことなど立ち話をしました。知らなかったり、これから塾に行くなど、駒カフェそのものへの関心はいまひとつのようでした。しかし、将来大学でなにを専門にしたいか、実社会でどのような仕事に就きたいか、科学技術をはじめとする社会の急速な変化にどう対応していくか、などについてはかなり強い関心をもっている印象でした。

駒カフェの案内冊子の配布を高学年にも広げ、自分の置かれている状況の確認、将来に向けた専門性ややりたいこと、などについて、スタッフ側も実社会での経験を踏まえて、互いにじっくり気軽に話し考え合えるような場を作れないものかと、かなり難しいかもしれませんが感じました。

- ② 今回の駒カフェは私の人生にとっては図らずも特別な拡大版となりました。土曜日の午後イチ、保護者会と重なって、いつもの第一会議室ではなく、30名程度が集える第2会議室となりました。レポートを提出に来た中1生と仲良く帰宅しようとしていた中のよさそうな中1生2人組に声掛けをすると、駒カフェの認知も高まったと見え、ジジイの声掛けを警戒することもなく、お茶を共にすることが受け入れられました。会議室で新1年生と本来の駒カフェは楽しく過ごし、この後、この夜は、西伊豆のヨットで、医学部在任中の初めての教え子で、来年度定年でリタイアする主任教授とたらふく飲んでいたら、ふと思い出しました。日曜日の夜は40、50代の教え子、バリバリの現役心理職の5、6人の初会の新宿での飲み会に招かれていたのです。ヨットにはもう一人、50くらいの仲間がいたので、日曜日の午前中までヨットで過ごし、ごめん！と、西伊豆の重須のバス停から小田急線新宿には5時には到着しました。図らずも、私の人生のカフェ環境が、この土日に集約されて、なるほど、私の人生にはこんなカフェの底流が存在していたのだと改めて自覚した次第です。一度気心が知れると、心の許される友は頼りになります。中1生であろうと、中年で人生バリバリであろうと、ともに人生振り返る立場になろうと、その場で言い合いになったとしても、思い出すと、つい微笑んでしまいます。図らずも、この土日は私の社会的活動の時間の流れに沿った大きなポイントが重なり、

必然としての駒カフェの想いにつながったと自覚した次第です。でも、ちょっと疲れしました。駒カフェを初めてよかったな！ 駒カフェが自分の生きざまの根幹にあるような気がしています。それにしてもジジイになった！ と自覚しました。わたしのベッドのうえには、既に2か月ほど、放置した、ルービックキューブがあります。6面体、3次元空間を紐付けして、6面をそれぞれ単色にまとめるゲームです。15分もあればいっちょ上がりでした。かつての私の脳みそでは！ 2か月ほど、横目で眺めています。私の脳力は、2次元までは、紐付けが可能なのですが、3次元の紐付けをどう逆立ちしても受付なくなりました！ 認知能力の機能の低下とは、こんな風に私には生じています。ま、多次元の現象は、2次元毎に分解し、理解するほかありません。これを実行すると、累乗の時間が、必要！すなわち、不可能なのです。若い脳は羨ましい限りです。若い方々にお任せしますので、その結果をいただいて、議論に参加させてください。

③ この日は生徒対象の駒カフェ。駒東玄関先でスタッフと私 二人で心を込めて呼び込みをしたが 足を止めて話を聴いてくれる生徒たちはいても 会場（第二会議室）まで来てくれる人はいなかった。私自身生徒だったら 土曜日授業が終わって 解放感が満ちているとき いくら好ましい企画であっても 卒業老人との会話は面倒だと思うだろう。納得している自分自身がいた。でも他のスタッフが半ば強引なのか 呼び込むテクニックの上手さか？ 3人の中一が来てくれた。話はよく弾んで 話の内容は他のスタッフが伝えた通りだが楽しげに面白く過ごしてくれた。「英語の中間試験がまずかったかな」などと。私は「失敗した！まずった！ ということがとても大事だよ」などと偉そうにいったことを記憶している。私の希望は 駒カフェに関心をもって来てくれる生徒が増えること。そのためには何が必要なのか 常に疑問をもっている。

④ 中学1年生3人のうちの、お一人との会話でした。時間は気にしたのですが、結構長い時間が経っていました。同じ場面を見ていても、見えているものは、人によって違う。問題は、意識しないと見えてこない。小さな疑問も、大きな疑問に繋がる。課題の虜になって、深みにはまるのも、結構楽しい

ものであり、そこで新発見の喜びを味わう。ゲームにも似た側面があるようにも思います。しかし、自然や思考の課題は奥の深さが違います。逆に課題からの発展の広がり（多様性）が、異なると実感しています。60年の年齢差の中での会話は、楽しいものでした。話相手をしていただき、ありがとうございます。

第23回 駒カフェ（第2部）2023/7/1 開催

参加者の感想

- ① 初めは緊張して入室しましたが、平野先生をはじめスタッフの方々々が優しく、気さくに接していただき、子育ての悩みを聞いてくださいました。息子も息子への私や夫の対応も今のままでよいのではないかと、肯定的に捉えて下さり、気持ちがとても楽になりました。スタッフの方々のお仕事の話や中高時代の話、卒業生のお母様のお話など、和やかにいろいろな分野のお話ことができました。どれも、とても興味深く、視野が広がった感じがしました。飲み物やお菓子をいただきながらのまさに「カフェ」で居心地の良い空間でした。また参加できたらと思います。ありがとうございました。

OBスタッフの感想

- ① 新入生は新しい学年の中で、体育祭、HR活動、文化祭、部活動、勉強などの自分のポジション取りで頑張っていると思う。保護者としては、話を聴いてあげることが大事。大人は結果を急いで助言しなくなる。お母さんはこう思うが、いっしょに考えよう。複数の意見を聞いて自分で決めるのがよい。辛いとき、本当に困ったときは必ず話をしてね。勉強については、平均点より上も下も1/2の割合の生徒がいる。例えば、英語・数学・国語の3教科すべてが平均点以上である生徒の割合は $1/2 \times 1/2 \times 1/2 = 1/8$ なので8人に1人ということになる。駒東生は1科目でも平均点以下の科目

があると私はできない生徒であると受け止めてしまう傾向があるかもしれない。優れた集団なので、お互いに切磋琢磨するこの集団の中に入っていることが重要です。


- ② 今日、本来なら、スタッフミーティング。そこへ駒カフェに参加希望のお母様をお一人お迎えしました。前回、保護者のカフェに参加ご希望なされたのですが、体調不良でご欠席なされたので、そして、新1年生のお母様だったことを考慮すると、先延ばしするよりも、とりあえず、スタッフとお近づきになっていただければ、とお母様を囲むスタッフミーティングを開きました。カフェの台所の打ち合わせを先ず覗くのも一興！カフェの本質が見てもらえそうとの嗜好が見事に当たった結果となりました。平野シェフは医師の指示に従って、一部始終を zoom で指揮をお取りになりました。すなわち、メンバーの勝手なお喋りを静かに眺めていらっしゃいました。参加のお母様も7回生のジジイに微笑みを武器に負けずに対応なさっていました。スタッフには、お母様OBもいらっしゃるのですから。カフェのスタッフミーティングは、新しい素敵なお客様の質問やご意見を伺うことができ、お菓子をつまみながらの楽しい、そして、様々なカフェへのご期待を伺い、今後のカフェの展望を見通す成果を持ちました。ちょっとしたきっかけが新たな展開を産む経験となりました。乞う、ご期待！
- ③ 駒カフェ準備会の日だったが 保護者の会に前回来られなかった中一のお母さまが来てくださいました。私はご子息の不登校気味を心配されての参加かと思っていたのですが あにはからんや ご子息は紆余曲折あっても 順調な成長 当たり前が良いご家庭だと推測しました。それからは スタッフ各自の持ち味の会話とお母さまの会話が面白く われわれも大いに楽しんだ二時間を過ごしました。思えばこれが駒カフェですね。けして何らかの問題解決や何かを求める会ではなく 会話を楽しんでよかったと思えるのが駒カフェ。それ以上のものはないというのが私の持論です。いろいろ美味しいお菓자에恵まれてよかったなど。
- ④ 今回は、臨時で保護者対象の駒カフェになりました。ご子息の駒東という新しい空間での対応に少し不安を感じていらしたようでしたが、お話をお伺いしたところでは、全く心配いらないうでした。

ご息は十分な対応力と新しい経験に立ち向かう意気込みがあると感じました。もし本当に不安があったにせよ、「過保護は無保護」にならない程度に対応されたらそれで十分だと思いました。将来独り立ちした時に、自分で自分を守れるように育てて欲しいと感じました。きっとできると思いました。

⑤ 前々回の保護者用駒カフェにご事情があって欠席された中1のお母さまを準備会の日にお招きしました。当初は入学に伴う環境変化に馴染めてないのではとスタッフが心配していましたが、実際にお話を聞いてみると、この3ヶ月で駒東ライフに十分に馴染まれている印象を受けました。体育祭への思い入れ、体育部と文化部の兼部など、学業以外のことにも熱中している印象を受けました。中1の間に自分のポジションを認識するというスタッフの話に妙に納得してしまいました。私自身が地元のガキ大将で自信満々で入学したものの、身体が大きく運動の出来る同級生、いろんなことを知っている学業に秀でた同級生を前に、学校での在り方に修正を迫られたと記憶しています。選りすぐられた駒東の環境において、上には上がいるということを知ることも健全な成長に繋がるのではと感じています。

⑥ 中1の保護者ということは、保護者としては12、3年生。甘えと善意の衝突の中で、戸惑いや悩みがあるから、課題への挑戦は楽しいものなのだと思います。次世代を育てるといって、最大の課題を楽しんでおられと、感じました。独り立ちしても、完全に手を離れることはない親子の関係だと思いますが、良い思い出として振り返られる時が来るのでしょう。両親と一緒に過ごした時間、また子どもとの時間。それは、貴重な瞬間であったと、昔を振り返る「駒カフェ」でした。輝く今の時間を楽しんでおられると、思いました。また、「駒カフェ」でお会いしましょう。

○ 駒カフェの開催報告をご覧になって、興味を持ち、参加してみようかと思われた方は、下記に記載の運営事務局までご連絡願います。次回以降の駒カフェ開催案内をメールで送らせて頂きます。

○ 本校のホームページで、「駒カフェ」のバナーを  クリックすると、駒カフェの情報を見ることができます。

【2023年度 第2学期の予定】

第26回 文化祭に参加予定 9/16（土）、9/17（日）

第27回（在校生対象）10/7（土）13：00～15：00・・・第1会議室

第28回（在校生対象）11/25（土）13：00～15：00・・・第2会議室

第29回（保護者対象）12/9（土）13：00～15：00・・・第2会議室

2023年7月



「三世代をつなぐ駒カフェ」運営事務局

代表 黒岩 誠（駒場東邦7回生/前スクールカウンセラー）

平野 勲（駒場東邦スクールカウンセラー/前校長）

連絡先 komacafe1540001☆gmail.com

☆を@に変えてください。

駒カフェ  でお会いしましょう！